

## モルック競技大会



国際交流部会では、異文化交流を深めることを目的とし、6月8日(土)町田シバヒロで「モルック競技大会」を開催しました。今回のイベントには、外国人参加者12名を含む多くの方々が集まりました。

モルックはフィンランド発祥のアウトドアスポーツで、簡単なルールと手軽さから誰でもすぐに楽しめるゲームです。当日は、ほぼ全員が初めての体験にもかかわらずルールをすぐに理解し、熱心にプレイしていました。特に、国籍や言語の壁を超えて、笑顔と歓声が絶えない和やかな雰囲気が印象的でした。

大会の開始前に、モルックの基本ルールについて簡単な説明を行い、デモンストレーションを交えながら実際のプレイ方法を紹介しました。その後、ランダムにチームを組み、モルックを楽しみました。各チームでは互いに助け合い戦略を練りながらプレイすることで、より一層交流ができたのではと思います。

試合の結果はさておき、参加者全員が新たな交流、異なる文化背景を持つ人々と触れ合う貴重な機会を得たと思います。参加者からは「とても楽しかった」、「また参加したい」といったポジティブな感想が多く寄せられ、国際交流の一環として大変有意義なイベントとなりました。国際交流部会では、今後もこのようにモルックでの異文化交流の機会を提供し、地域社会の国際化に貢献していきます。ご参加いただいた皆様、そして運営にご協力いただいたすべての方々へ心より感謝申し上げます。

(国際交流部会 山口 順)



ぼろんていえ

Volontiers! の由来：誘われたとき、頼まれたとき「喜んで！」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで





# KOKUSAIインタビュー

## 『今度は私が誰かを助ける側に』

佐々木 <sup>めぐみ</sup> 恵 さん

【所属部会・活動年数】外国人相談部会 2年目



佐々木 恵さん

### Q 現在どんな活動をしていますか？

外国人の方が各関係部署に提出する書類、たとえば、都営住宅に入るための書類に書かれてあることを翻訳したり、説明したりしています。

### Q ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

実は三年前に父が倒れて、私自身が心身ともに大変な時期にいろいろなボランティアの方に助けてもらいました。すべて解決して自分の生活も落ち着いたので今度は私も誰かにお返ししたい、と思ったことがきっかけです。ずっと興味があった国際関係で、外国人を母に持つ自分が力になれるような場を探していました。

### Q 活動を通して感じたことや得たことはどんなことですか？

本当に困って来ている方が多いので解決すると大変喜ばれて、そういう時は「すごく役に立ったんだなあ」という達成感があります。活動を通して得たことは、今までの人生で経験できなかったことができたり、知らなかったことを知ることができることです。私自身は日本で生まれたのであまりマイナスに感じたことはないのですが、実際、身近に学校や病院などでいろいろ苦労している外国にルーツを持つ方がたくさんいらっしゃることも分りました。

### Q 活動の中で大変なことはありますか？

法律など専門知識が必要な事柄が多く難しいです。書類も専門用語が多くわからないこともあり、その場で調べたりしています。私は他の方と比べて人生経験が浅く、知らないこともたくさんあって、こういう時はどこにつなげたらいいのかもまだよく分からず、その点も大変です。

### Q 今、関心がある事や趣味を教えてください。

趣味は語学の勉強です。英語、中国語がメインで、韓国語やアラビア語も独学ですが学習しています。英語は昔から好きで、ワーキングホリデーでオーストラリアに1年間滞在したこともあります。中国語は検定で中級レベルを持っています。また、最近は外国人についての政策も知っておかなければと思い、選挙や政治にも関心を持つようになりました。それから、ビジュアル系バンドのライブに行くことが好きで、日頃のストレスはライブで解消しています。

### Q 今後の活動の目標は？

まだ語学力に自信がなく、試験等受けて目に見える形で語学力を上げたいです。また、これからは依頼の多い同行通訳にも参加したいと思っています。

# JAICA モンゴル On Line リポート

## ～海外協力隊員がオンラインで登場～

6月23日(日)に障がい児者支援のため昨年10月からJICA海外協力隊員としてモンゴルに派遣されている国際理解・協力部会の生地陽(おいぢ・あきら)氏によるオンライン講演会を開催しました。テーマは「モンゴルの“衣・食・住”」で、氏にご用意いただいた数々のスライド映像によりモンゴルの伝統的な衣装や食文化、ゲルというテント型の住居などをレポートしていただきました。実況中継は学校のサマーキャンプ場からのようで、青い空の下でどこまでも続く緑の草原と、遠くに点在して見える白いゲルが雄大な自然を感じさせました。キャンプに来た子ども達の姿も確認できました。気温は朝は8℃にもなることで、日本の気候と大きく違ってきます。

会場に来られた参加者の中には、この夏モンゴルに旅行を計画している方が多く、質問も現地通貨やトイレ事情など具体的でした。

昨今はオンラインによる映像伝達方法が発達しています。今回の講演会には、一般の参加者に交じって同じく海外協力隊員としてマレーシアに派遣されている理解・協力部会員の三井氏やカンボジア派遣の方もオンライン参加されました。今後もオンライン講演会を開催していくことで世界と直接つながっていきたいと考えます。

また、町田市内からJICA海外協力隊員として派遣されている方や日本に戻って来た方による講演会・懇談会を開催し、あらためて海外の現状や海外からみた日本、日本人としての思いや伝えたい事等をお聴きする場を持ちたいと考えます。お楽しみにしてください。

(国際理解・協力部会 山口 美知子)



## その他のイベント

日にち	イベント名	部 会
6月15日(土)	2024年度ノースイースタン大学生のホームビジット	国際交流部会
7月21日(日)	囲碁で遊あそぶ国際交流	国際交流部会
7月30日(火)	懇談会「ポーランドの大学で日本語を教えてみて」	地域日本語コーディネーター 国際理解・協力部会

## 生涯学習センター主催

# ここまちベース地域活性化イベント 「たのしく知ろう！認知症サポーター養成講座」

いつ誰がなるかわからない「認知症」をきちんと理解し、サポートをすることができる基礎知識を身に着けましょう！

**対 象：**町田市在住・在勤・在学であればどなたでも。  
※小学生以下の方でも参加できますが、内容は主に20～50代の方向けになっています。

**日 時：**9月28日(土) 午後2時～午後3時30分

**会 場：**町田第一中学校図書室「ここまちベース」(町田市中町1-27-5)

**定 員：**30名(申込順)

**参加費：**無料

**申し込み：**申し込みフォーム(右記二次元コード)でお申し込みください。



**問合わせ：**さがまちコンソーシアム事務局ここまちベース担当 TEL 090-1294-5366  
(受付時間=祝休日を除く火～土曜日の午前9時～午後5時)  
町田市生涯学習センター TEL 042-728-0071

## 「多文化共生時代の地域防災～外国人支援を中心に～」

**日 時：**9月24日(火) 午後2時～4時

**場 所：**町田国際交流センター

**講 師：**菊池哲佳 氏(一般社団法人 多文化社会専門職機構・桜美林大学)

**内 容：**災害時、外国人が抱える課題とは・私たちにできること

**定 員：**30名

**参加費：**無料

**お問合せ：**町田国際交流センター TEL: 042-722-4260 Mail: info@machida-kokusai.jp



## 編集後記

秋が来ました。こよみの上では9月は秋。予報ではまだ夏の暑い日が続くだろうと言っていますが、もう山は紅葉の季節。そして初冠雪の便りがニュースでも。そして暑さが終わると、秋の長雨りんう(霖雨)と台風。本当に抜けるような澄み切った青空は何日楽しめるのでしょうか。地球の温暖化を心配してしまう季節でもあります。町田国際交流センターでも様々なイベントが予定されています。各部のボランティアの皆様も事前の準備に忙しいことと思います。すべては体力が基本になります。無理をせず体調の管理も気にかけてください。手がけた様々なイベントが成功するように祈っています。